

[様式 2]

杉並区立 西宮 中学校

平成 3 1 年度 男子バスケットボール 部の活動方針・活動計画

平成 3 1 年 4 月 1 日

1 指導体制

顧問教諭等氏名		外部指導者氏名	資格等や経験	頻度
顧問	松村 亮	尾田 歩美		週 1 日
顧問	石川 大輔			
顧問				

2 部員数 1 年生 9 人 2 年生 4 人 3 年生 5 人 合計 1 8 人

(平成 3 1 年 4 月現在)

	男	女	合計
1 年	9		9
2 年	4		4
3 年	5		5
合計	1 8		1 8

3 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
進んで心と体を鍛え、きまりや規律を重んじ、地域や社会に貢献する生徒。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標
都大会出場を目指して日々の練習に取り組む。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標
ミニバスケットボールチームとの交流を深め、地域に親しまれる部とする。

4 活動方針

- (1) 部活動の質と量の工夫
内発的動機付けで取り組むことで、積極的な心構えを身に付けさせる。
- (2) 練習や試合等の工夫
技能を基礎から学び、月に 3 回程度、競技力を高めるため他校と練習試合を行う。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成
誠実で真摯な態度で学校生活を送ることを活動の前提とし、規律正しい生活、感謝の気持ち、謙虚な心を大切にさせる。
- (4) 生徒相互の人間関係
チームとして行動していく中で、人間性・社会性の向上を目指す。
- (5) 学習と部活動
家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導し、文武両立を目指す。

5 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行

き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドライン等を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。

(2) 生徒間の暴力禁止

上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。

(3) 外部指導員の活用

顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。

(4) 事故防止・安全配慮

生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

6 活動計画

(1) 活動日：月・火・木・金・土曜日

(2) 活動時間： 平日 16:00～18:00 (2時間)

休日 9:00～12:00

または13:00～16:00 (3時間)

(3) 休養日：水・日曜日

(ただし日曜日が大会等の時は月曜日を休養日とする)

(4) 年間活動予定

学 期	月	内 容
1 学期	4	対面式部活動紹介 第三ブロック大会 部活動保護者会（指導方針等を説明）
	5	都春季大会
	6	区選手権大会
	7	都選手権大会
		夏季休業中 練習及び練習試合
	8	関東大会 全国大会 区夏季研修大会
2 学期	9	
	10	区新人大会 小学生中学校体験会部活動見学
	11	都新人大会 子ども地域活動促進事業
	12	冬季休業中 練習及び練習試合
3 学期	1	区春季大会
	2	
	3	春季休業中 練習及び練習試合

(5) 参加予定大会

第三ブロック大会、夏季選手権大会、夏季研修大会、新人大会、区春季大会